

地域づくり通信 第23号

編集・発行 南橋地区地域づくり推進協議会 広報部会 事務局：南橋公民館内 ☎231-2376

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎年実施してきた「赤城白川まつり」や「南橋中学生と地域住民の共同による橘山環境整備活動」、「衣類等交換会」など、多くの恒例行事が『中止』となりました。

いまだに収束の見えないコロナ禍ですが、マスクの着用、手洗いの徹底、人混みや3密（密集、密閉、密接）を避けるなどの感染防止対策を実践しながら、可能なものについて活動してきました。

【実施した事業】

- ・ 橘山の環境整備（草刈り、危険木撤去作業、ヤマザクラ植樹記念祭 など）
- ・ 田口菜 菜の花プロジェクト（摘み菜、種の収穫、種まき など）
- ・ 廃食用油の回収 など



疫病退散祈願

橘山の環境整備

【自然環境部会】

身近な里山「橘山」の自然保護と植栽したヤマザクラの育成などの活動をしています。

南橋公民館に寄せられた「アマビエ」のぬりえ

◎ 草刈りや危険木撤去作業

橘山憩いの森愛護会と田口町自治会が中心になって3回（6月・8月・10月）の草刈り、危険木の伐倒撤去（6月）を行いました。



危険木伐倒・撤去作業（6月18日）



3回目の草刈り作業（10月24日）



ねぎし ゆきこ
ちゃん作品



ながい ひめ
ちゃん作品

◎ ヤマザクラ植樹記念祭〔11月21日〕

平成19年の第1回植樹から13年が経過し、植樹した100本を超える桜木は立派に成長しています。

秋晴れの中、愛護会員や植樹者が40人参加し、木周辺の雑草の除去や根元に落葉・枯草を集めて冬の冷気・乾燥からヤマザクラを守る作業、名札の付け替え作業などを行いました。



※一部を掲載。
ほかにもステキな作品が多数南橋公民館に展示してあります。ご覧ください。

田口菜 菜の花プロジェクト

【花・緑いっぱい部会】

田口町の遊休農地に伝統野菜「田口菜」を栽培しています。

◎ 菜種の収穫（刈取り） [5月29日]

収穫機械（委託）で3,000㎡余りを刈取り、10袋ほどの菜種を収穫しました。収穫した種は、ハウスに広げて2～3か月乾燥させます。



◎ 菜種のごみ取り・袋詰め [9月14日]

乾燥させた菜種に混じったごみを「ふるい」で除き、さらに選別機でキレイにして袋に詰めました。収穫量は、254kgでした。搾って食用の「菜種油」を作ります。



◎ 種まき作業 [10月3日]

今回は役員17人の少人数で行いました。連作の続いた一部の畑を休ませ、隣接した新たな2,500㎡ほどの畑に種をまきました。こぼれて発芽している1,500㎡ほどの畑はそのまま育てることとしました。



◎ 畑や田口菜の管理 [通年]

岩崎富雄さん（田口町）を中心に、年間を通して畑や田口菜の管理をしています。今年度も、草刈りや施肥・耕運、消毒などの作業を行いました。

◎ 菜種油のラベル貼り [10月8日] → 販売



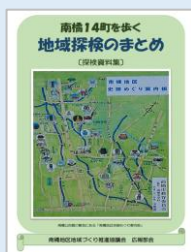
昨年3月に搾った菜種油（270g入ビン）280本に製品ラベルを貼りました。地区文化祭や自治会行事の大半が中止になったため、プロジェクト会員の皆さんにご案内したところ、すぐに完売となりました。

◎ 「地域探検のまとめ」 【広報部会】

地域探検隊の資料をまとめた冊子「南橋14町を歩く 地域探検のまとめ」は、大変ご好評をいただき配付を終了しました。

ご覧になりたい方は、14町の自治会事務所や南橋公民館でご覧になれます。

これからも、地域の史跡や名所を訪ねるイベントを計画したいと考えています。皆さんご参加ください。



令和2年度 4月～12月 回収実績

紙リサイクル庫

*新聞紙	12,310 kg
*雑誌	13,760 kg
*ダンボール	9,870 kg
*雑古紙	9,350 kg
*紙パック	60 kg
*古着類	5,110 kg

合計 50,460 kg（前年同時期 26,330kg 減）

※ 公民館駐車場整備工事のため3か月余りリサイクル庫の利用ができなかったため、大幅減となりました。



南橋公民館のリサイクル庫

廃食用油 1,623 kg（前年同時期 140kg 減）

恒例行事の今後の予定（3月1日現在）

コロナ禍のため、昨年に続き次の行事を中止にすることとしました。

- ・地域づくり推進大会
- ・さくらロードを歩いてみよう！
- ・赤城白川まつり

※ 新型コロナウイルスの感染が一日も早く収束して、通常の活動が再開できますように《祈》！

お気づきの点は、南橋市民サービスセンターTEL231-2376

編集を終えて…… 新型コロナウイルスの第3波が猛威を振るう中、新年を迎えました。私たちの地域づくり推進協議会でも3月の推進大会をはじめ各部会事業のほとんどが中止になりました。今回の通信第23号も橋山や田口菜などの屋外で実施できた事業の報告のみで大変さびしいものです。ただ広報部会が7年間の地域探検隊活動で「地域探検のまとめ」を発行できたことはせめてもの慰めでありませう。【萩原】